

山梨市第4期地域福祉計画

概要版

第1期再犯防止推進計画

令和8（2026）年度から令和12（2030）年度まで

1 地域福祉計画ってなんだろう

山梨市では、急速な少子・高齢化や人口減少、単身世帯の増加、地域のつながりの弱まりなどで、暮らしを取り巻く状況が大きく変わっています。その結果、子育て・介護・障がい・生活困窮など、いくつもの困りごとを同時に抱える世帯や、誰にも相談できずに孤立する高齢者や生活に困っている人が増えています。

こうした現状を踏まえ、住民にとって一番身近な行政である山梨市が、地域住民や社会福祉協議会、関係団体と一緒に取り組むために「地域福祉計画」を作ります。計画では、支援が必要な人に届く福祉サービスや地域の支え合いの仕組みを、全体としてわかりやすく整え、今後の進め方を市民のみなさんに示していきます。



【基本理念】

気づく、つくる、つながる山梨市 ～みんながもうちょっと幸せになる～

「みんながもうちょっと幸せになる」とは、特別な大きな変化ではなく、毎日の暮らしの中で感じる小さな安心や喜びを増やすことです。

誰かに声をかけられる安心感。

気軽に行ける居場所での笑顔。

困ったときにすぐ相談できる安心。

こうした「もうちょっと幸せ」を、市と地域のみなさんで一緒につくって行きたいと思います。

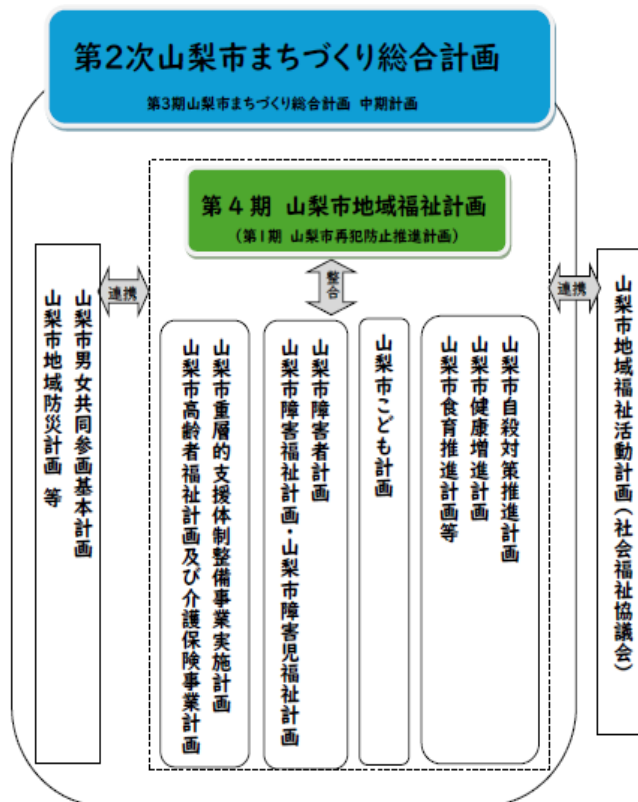


●計画の位置づけ

この計画は、「第2次山梨市まちづくり総合計画」をもとに、福祉分野の各計画の上位計画として、地域の人たちの暮らしをよくする目的で作りました。

子ども・障がいのある人・高齢者それぞれの支援を連携させ、すべての人が安心して生活できるよう取り組みます。

また、福祉の計画だけでなく、まちづくりや教育などほかの市の計画とも合わせて進めていきます。



●計画の進捗管理

本計画においては、PDCA サイクルの手法を活用して進捗管理を行い、計画に基づいて効果的かつ効率的に施策・事業を実行することで、地域福祉における課題解決を図っていきます。



●本計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5か年とします。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
地域福祉計画の周知活動					第5期地域福祉計画
	中間評価の準備	中間評価	中間評価を基にアンケート内容及びワークショップの内容を検討。	5年間の評価準備アンケート及ワークショップの実施	



【取り組み方針】



基本目標 1 安全・安心な暮らしを守るしくみづくり

高齢者、障がいのある人、子ども・子育て世帯、生活困窮者等、課題を抱え支援を必要とする人が必要な支援やサービスを選択でき、適切に利用できるようにすることで、誰もが安心して暮らせるようなしくみづくりに取り組みます。

施策の方向性 1

- ・現場のニーズに合わせた柔軟な研修や交流会を通じて、地域の担い手を育て住民と支援者のつながりを深めます。

施策の方向性 2

- ・災害時の連携と情報共有の仕組みを整え、支援を必要としている人の所在確認や日常の見守りを行います。

施策の方向性 3

- ・支援専門機関が連携して、相談しやすい体制を整え、困っている人のさまざまなニーズに対応します。

皆さんと一緒にできること

地域の人たちが、積極的に行事に参加するなどし、温かい雰囲気をつくることで、孤独を未然に防ぐ地域を目指します。



基本目標 2 自分らしく活躍できる地域づくり

地域住民一人ひとりが自分のペースで関わりながら、共に成長し、支え合える社会の実現に取り組みます。

施策の方向性 1

- ・関係課が連携し、誰もが参加できる活動の場を整えていきます。

施策の方向性 2

- ・相談窓口や民間の協力者も含めた地域の支援ネットワークを広げ、生活の基盤整え、見守りを通じ孤立や再犯を防ぎます。

施策の方向性 3

- ・通いやすい場と働く機会をつくり、多世代・多分野がつながる拠点と仕組みで課題解決を進めます。

皆さんと一緒にできること

他を認め、自分が出来る方法で支え合いに関わり、温かい地域を目指します。





基本目標 3 誰もがともにつながり、支え合う地域づくり

同じ地域で暮らす住民同士が顔の見える関係をつくり、主体的、積極的に見守りあい、支え合い、困ったときに助け合うことができるようつながりを深める活動に取り組み、支え合いの地域づくりを進めます。

施策の方向性 1

- ・ 企業や福祉団体のニーズを把握し、地域のなかに相談や協議ができる場をつくって連携を進めます。

施策の方向性 2

- ・ 寄り添った支援ができるよう関係機関が連携しやすい環境を作ります。

皆さんと一緒にできること

仲間との活動でつながりを深め、日常の見守りを続け、困ったときは民生委員や市に相談します。

施策の方向性 3

- ・ 地域課題や福祉の大切さをわかりやすく伝えて住民の理解を深めるとともに、頼れる家族がいない高齢者などへの支援を考えていきます。



基本目標 4 地域に関心を持ち、行動できる人が増える環境づくり

地域住民一人ひとりが自分の住む地域に関心を持ち、地域での「支える側」「支えられる側」という立場を超えて、皆が地域社会を構成する一員として、地域の活動や課題の解決などに取り組んでいける人が増える環境づくりを進めます。

施策の方向性 1

- ・ 対話やワークショップで情報交換などの場に市民が参加しやすい環境をつくります。

施策の方向性 2

- ・ 関係者同士の協力体制づくりをすすめるため、地域の交流の場の充実をはかります。

皆さんと一緒にできること

顔の見える関係を育て、コミュニティづくりを楽しみ、多様性を認め合うそんな地域を目指します。

施策の方向性 3

- ・ 福祉の施策や社協の活動内容をわかり易く発信し多世代に理解と参加を広げます。



2 再犯防止推進計画ってなんだろう

犯罪をした人の中には、仕事や住まいが安定せず、家族や友だちの支えが乏しかったり、薬やお酒の問題を抱えている人が少なくありません。そうした人たちを「もう終わりだ」と切り捨てるのではなく、地域の一員として受け入れ、みんなで支えていくことが再犯を防ぐ近道です。市は、国や県の行政機関やNPO及び民間団体と連携して、働くための相談や職業訓練、就職につながる支援、住まいを見つけるサポート等、福祉の支援を進めます。

この計画は、そうした取り組みを市の事業に反映させて、誰もが安心して暮らせるまちをつくることを目指すものです。

【計画の基本方針】

地域社会の理解と受け入れの促進

地域住民への説明会や啓発活動を通じて、犯罪をした者等に対する偏見や差別を解消し、社会復帰に対する理解を深めます。

多機関連携の強化

自治体、福祉・医療機関、警察、教育機関、地域団体が連携して、地域の特性を生かした支援体制を構築していきます。

就労・居住の確保による再犯防止の推進

地域社会や関係機関と連携し、就労支援や住居確保の支援体制を強化することで、生活基盤の安定を図り、再犯防止につなげます。

非行防止の推進による犯罪防止の強化

非行の早期発見と地域全体での支援体制を強化し、子ども・若者の健全育成を図ることで、将来的な犯罪防止につなげます。



地域の中で

あなたのもうちょっと幸せになる・・・

それは何ですか？



山梨市第4期 地域福祉計画
令和8年（2026年）3月発行

〔発行元〕

山梨市 福祉課 社会福祉担当

〒405-8501 山梨市小原西843

TEL：0553-22-1111 / FAX：0553-23-2800